

要塞地寫生願ひの書式

△要塞地(三浦鎌倉地方)を寫生するには左の願書に返信郵券三錢を封入して在横須賀東京灣要塞司令部へ宛て出願さるべし横須賀近傍(第一區)は到底許可にならざるも逗子や鎌倉近處なら直様許さるべし

寫真撮影(模寫)願 (雛形)

一目的 紀念(研究)

一位置 何郡内何町、何村、山、川、

一期限 自何年何月何日至何年何月何日

右御許可被下度要塞地帶法施行規則第四條に基き此段奉願候也

明治何年何月何日

住所 姓 名

生年月

東京灣要塞司令官伊知地幸介殿

問に答ふ

注

水彩畫に關係あるものに限る◎印は答。一般に對して利益なきものは載せず

■1東京で苦學して出来る繪畫に關する職業の給料順序等を知りたし、但し畫家、教

育家は別として2大下先生の東西社から出た繪葉書は本誌口繪の如き出來榮なりや(長野K O生)◎1石版の製版師などで、他に適當と思ふ仕事を知らず、製版師は五六年で一人前となり二三十圓より五六十圓位ひの報酬あるべし、詳しくことは其道の人に問はれよ2石版としては成功せしものなり■1毛筆線畫を學ぶによき臨本ありや2日本畫にて習得せし線は水彩畫に應用し得べきや(旭川愛讀生)◎別に適當と思ふ臨本なし尤もドノやうな繪をかくのにも(模様でも漫畫でも)一通り黒繪の正しき線や濃淡の心得なくしては立派なもの出來ず、夫故矢張り鉛筆畫を學ぶ必要あり2水彩畫は無線であるから其儘應用は出來ぬが、日本畫の線を働かすことは筆者の工夫にあるべし■1水彩畫階梯に夕の空を寫すに「夫より上部に漸次色の劣りし黄色」云々とあり其黄色は何なりや2要塞地寫生の許可を得て寫生したるものは完成後當局者に一見を乞ふ可き者か3反對美とは何を申にや4葉書大の繪畫を送るには如何にしてよきからローシーナ、バアントシーナ等

使用する時小粒を生ず如何にしてよきや6調子の高き又は低き色とは如何なることにや(曙町晚秀生)◎1此際の色は劣りしといふは明度の劣りしといふ意味、即ち上部にゆくに順ひ色の暗くなるをいふなり2許可證の裏面にある通り3多く用ゐらるゝ言葉にあらず、只反對美にては不明今少し詳しく問はれたし、色の反對によつて美を生ずるは、例へば赤の傍に綠といふ様に剛性的美を見るべく、濃淡の反對としては純白の傍に眞黒といふが如く反對によつて美觀と呈することあり4普通郵便にても開き封にても可なり、但開き封の中へ郵券を共に入るべからず5繪具の古き爲ならん練直して見給へ6調子の高いとか低いとかは繪の上に云ふべく、色の上では多く強いか弱いかいふなり、これは色としては積極的なものは即ち調子の高いので、消極的は其反對なり■1水彩畫法に筆遣ひといふことありや2水彩畫にホワイトを使用するの利害3パステル畫は各店に販賣する蠟べにて代用し得べきや(二戸TF生)◎一定せるものなし、其寫すべきものに倣ふて尤

も便利の手段を取れば可なり。②ホワイトは不得止場合のほか其儘使用すべからず、他の繪具と混じて使用するは可なるも手際よく仕上る事困難なりなるべく用ぬ方よからん。③臘ベといふもの不明、パステル繪具は随分高價のものにて且描寫容易にあらず。④中學の圖畫教員となるには鉛筆畫のみにて檢定試験を受くる能はざるか。⑤春鳥會入會の手續は如何(三宅坂K T生) ⑥受くること能はず。⑦往復ハガキにて規則書を取らせ見られ。⑧寄送の繪畫にして紙上に載せられしものには大下先生の御筆の繪はがきを戴くことを得るのにや(無名生) ⑨毎號會告にある通り優秀なるものに限り。⑩透視畫法の書は何がよろしきや初學者にても解し得るもの(T F生、K T生) ⑪東京本町金港堂發行の寺野精一著用器畫教科書續編よろしからん附圖共五十七錢なり、但極々の初學者は幾何畫法から始めなくては了解に苦しむ點多かるべし。⑫擦筆は如何なる繪具を用ひて使用するにや。⑬水彩畫にパニスを使用する場合は如何又畫面一面にニス引の如く塗るものにや。⑭牛膝の使用す

る場合。⑮花木に對する昆蟲の關係を知るに如何なる書がよきか。⑯四季の雲の出る大概を知りたし。⑰専門家となるには森羅万象何物も畫面に上すに博物的に研究を要するや(神戸MY生) ⑱チヨーク又はコンテ。⑲とよばるゝ鉛筆心のやうなもので光澤のない粉をつけて畫くのに用ふ、チヨークは丸又は角の棒状をしてゐる、それを硬き紙又は紙石盤の類で磨りて用ふ、色は黒と赭との二種あり。⑳重に蔭の暗き處に深みを與ふる爲めに用ふ、光澤を要する場處、透明を要する場合。㉑繪具の舒びの悪しきをよくさせる爲めなり、併しこんなものは徒らに面倒を増す許りゆへ用ひざるをよしとす。㉒外にそれのみを説きたる書物あるを知らず、博物の本を調べたら期節などは直ぐ知れるならん常に心掛けて寫生しておれば甚しき間違はあらざるべし。㉓一言にして答へがたし、其等も實地寫生に待つ方安全なり。㉔初學者のみに限らず多少修養ある人と雖も無暗に想像的の繪を畫くことは望ましかち。㉕博物標本的に寫すのは無益なり。㉖水彩畫を學ぶの順序を今一度繰返して讀まれたい。㉗チューブ入の繪具の固くなりしを葉鐵製繪具箱に詰め使用するも色澤に異状なきや(安房白井生) ㉘なし。

讀者の領分

注意
長文及水彩畫は無關係のものに御斷り。
◎印は編者の答。投書の要點のみを掲ぐ

海(海)の繪を出して下さい、この間私が品川沖で寫生した軍艦を畫き直してゐたら友人は軍艦の秘密を漏らす者だといひました(晩秀生) ◎市中で賣てゐる軍艦の寫眞も軍機漏洩すかれ。僕今日の日課にてMODERNの意義を教師に質し候處それは寫眞又は繪の臺紙なりと教へられ候故「みづゑ」てふ雜誌に「マツト」として書いてあるは如何と反問致し候處そは「マウント」の方正しきなりと教へられ候間一寸御參考迄に(本郷大川直助) ◎御親切を謝すMODERNは臺紙のことにて、MALは額縁の中にある繪の枠であることとす。自筆水彩繪葉書及ワットマン十六切形水彩風景畫の交換を願ふ、但し何れも畫面に文字なきを望む(安房國北條町六軒町白井翠石) 本誌に石版で鉛筆畫木炭畫ペン畫等を順繰りに掲載して下さい(K O生) 『みづゑ』二十二は近來の上出来趣味多かりしは喜ばし(麻布永坂生) 僕『みづゑ』初號を有す肉筆繪葉書五枚以上封送先着に進呈す、後着は交換返送す(播磨國明石郡多聞村朽木快秀) 僕の友人が『みづゑ』第一(口繪ナシ)を三十錢なら賣るといふ、望の人は僕の處へ送金あれ(大坂東區東平野町五ノ一八五、福島晚翠)